



学校便り 第18号
R4.2.16発行

夢ひろば

ひたちなか市立長堀小学校
住所：ひたちなか市長堀町3丁目5番1号
電話：029-274-5800



玄関の花(西中根:重田様)

【御礼】学校教育活動に関するアンケート(2回目)

過日ご依頼させていただきました「学校教育活動に関するアンケート(調査期間2/1~2/7)」にご協力いただき、ありがとうございました。回答率は、90%でした。(今年度10月実施より2%ダウン)

Web回答に切り替えたことによりアンケート回答率が、平均91%とかなりの高回答率となりました。保護者様へのご負担が軽減された結果と思っております。

※今年度1回目と比較した数値も表記しました。設問1は、お子様の学年に関する設問のため割愛します。

※「思う=とても思う・まあまあ思う」「思わない=あまり思わない・まったく思わない」と分類した割合(%)です。

設問	内容	思う	前回比	思わない
2	学校は、教育目標・経営方針をホームページや学校だより・学年通信等を通して、保護者・地域の方に分かりやすく伝えている。	93	+1	7
3	学校は、授業を工夫し、一人一人に応じた学習を行っている。	77	+5	23
4	子供一人一人が大切にされ、認められる学校になっている。	85	+1	15
5	子供が、学校や生活について、先生に相談できる学校になっている。	76	+1	24
6	学校は、子供に、生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を教育している。	90	+1	10
7	学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	86	±0	14
8	学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている。	92	-2	8
9	学校は、施設や設備が整備されている。	83	-5	17
10	学校は、行事等を通して家庭・地域と連携を図っている。	83	-2	17

考察及び次年度に向けて

※「思わない」と感じている割合が20%以上の項目および前回比が5%ダウンした項目について回答させていただきました。

【設問3】思わない23%

前回と比較して、5%の方が「思う」の回答になりましたが、依然として課題のある項目であると捉えています。今年度は、通常の授業だけでなく、リモートによる授業を前期・後期共に実施しております。1人1台タブレットが施行された年でもあり、個別最適化に向けて、研修を行いながら進めてきました。通常の授業においても、タブレットを活用した授業を取り入れ、文房具の1つとして、子供たち自身が使いこなせていけるようにという点においても、取り組んできました。タブレット活用については、今後も研鑽すべき点であります。通常の授業やリモートによる授業といった状況や学習形態にかかわらず、子供たち一人一人の実態に応じた分かりやすい授業づくりに努めて参ります。

【設問5】思わない24%

子供たちにとって学校は、家庭と同じくらい安心して過ごせる居場所であればならないと捉えております。そのために、子供たち一人一人が「学校で学ぶことが楽しい」と思える学校づくりに努めているところであります。前回の結果より、わずか1%の改善に至らなかったことについて、真摯に受け止めております。一朝一夕で変わるほど簡単なことではないことを改めて実感している次第です。お子様の様子を介して保護者の皆様、もしくは保護者の方自身が、「相談しにくい」と感じていることについて、今年度の取組を振り返りながら、危機感をもって見直して参ります。次年度からひたちなか市管理規則の改訂に伴い、2学期制に完全移行されます。いわば、教職員にとって「働き方改革」の1つになります。「働き方改革」により、教員自身に心のゆとりをもって、児童および保護者の皆様と心地よいコミュニケーションが図れるようにしていきたいと思っております。この他、今年度はコロナ禍ということもあり、授業参観や懇談会が計画通り実施できなかったことで、参観後のアンケートや懇談会での対話等の機会がもてませんでした。次年度では、これらの点についても改善できるよう努めたいと思っております。これまでの方法・手段を当たり前と思わず、令和時代に合った持続可能なスタイルについて、今後も検討し、改善していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



写真：GTを招いたりリモート授業の様子

【設問9】前回比:-5%

10月から2月にかけて、大きく施設や整備について変化はありませんでしたが、持久走大会(今年度は校内)や長堀祭の代替による授業参観で来校される機会があったことや、登校時刻が荒天(大雨・雪)だったことがありました。これらを通して、保護者の方々が、何かしら感じた結果であると受け止めております。日々の授業や学校生活を行う上で、教育効果が計れるように、施設や整備に関する点検・報告・連絡・相談・確認機能が衰えないように今後も努めて参ります。また、点検等を通して、児童の「安全」を確保できないと判断・改善すべきと判断した点は遺漏なく市教委に報告・要望をして参ります。